



でも
脇見は禁物！

初めての道で
景色や案内板に
見とれる気持ちは
わかりますが…

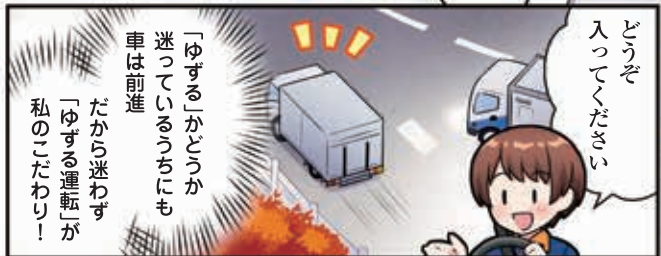
「車外の脇見」
に要注意！

あっ！

左車線から
合流車両

すっきり
紅葉の季節だ

夕方
夕方も
情緒があつて
きれい！



あつ！

どうぞ
入ってください

「ゆずる」がどうか
迷っているうちに
車は前進

だから迷わず
「ゆずる運転」が
私のこだわり！



あつ！

左車線から
合流車両



あつ！

あの前方の安全を
確認できるまで
アクセルは踏むなよ

夕方時間帯は
車両が渋滞している
可能性がある



あの前方の安全を
確認できるまで
アクセルは踏むなよ

あのトンネルの
最後は左カーブ
そのすぐ先に
料金所がある



あつ！

高速道路区間も
無事終了！

目的地まで
あと少しだ！



あつ！

「何か…急な…急な…急な…」
あつ！

「何もいから
アクセル」が
安全の基本！

だから

渋滞なし！
前方よし！



今から
もう一台ですか…

うん…
かしこまりました

グチャッ
「戻りました」
戻りました！



私今日から
トラックドライバーに
なります！

第8話 **トラックに
「余裕」を載せて**

綾瀬小陽 (22)
仕事を任せられることが多くなってきた綾瀬。
今日も無事配達を終え戻ってきたところに、
一本の電話が…



あつ！

お世話になっている
にっこり食品様から
緊急オーダーが
入ったんだ

でもこの時間から
車を手配するのは
大変だなあ…



あつ！

綾瀬くん
おかえり…

サンライズ運送
配車担当



あつ！

私が行き
ましようか？

配達が
早く終わって
ちょうど今
空車ですし

あつ！

君は女神か！



あつ！

あつ！

あつ！

あつ！



あつ！

初めての
訪問先だから
くれぐれも
地図やナビに
気を取られて
脇見運転になるなよ

はい

さあ
高速道路だ



あつ！

あつ！

あつ！

あつ！



あつ！

あつ！

あつ！

あつ！

次のページで「ゆずる運転」を解説！

「無自覚の脇見運転」は
重大事故につながる恐れあり！



マンガ制作: ad-manga.com

トラックドライバーによる追突事故の8割以上が、「停車車両に追突」しており、原因の多くは「脇見運転」です。運転中に車窓からの景色に目をやることや、車内で飲み物を手を伸ばしたりオーディオやエアコンを調整したりする「無自覚の脇見運転」は、誰しも経験ゼロとは言えないです。またこれらの行動は、疲労を紛らわすために行う場合もあるため、疲れのサインと捉え休憩をしましょう。運転中の危険行為と広く認知されている脇見運転も、携帯電話の使用や画面の注視などを除けば、交通違反で摘発されることはありません。しかし、脇見運転により前方が不注意な状態に陥ることで追突事故が発生すれば、「前方不注意」との言い回しに変わり、安全運転義務違反に該当する違反行為として取り扱われます。運転中、携帯電話の画面をなげなく確認していませんか？この「無自覚の脇見」が重大事故の引き金になりかねません。

重大事故の引き金に
ついついやりがちな「無自覚の脇見運転」

自分を律して脇見運転を絶つ
気持ちに「余裕」を持ってアクセルを

無自覚を含む脇見の行動は、警察官や管理者からは見えない車内で行われます。そのため効果的な対策としては事故を起こさないために脇見運転をしないと、「自分を律することくらいしか見当たりません。また運転とは、手と足と目と頭を同時に動かす「ながら行動」であり、「こに脇見につながるオーディオやエアコンの操作などの行動が加わる」と人間の行動は限界を迎えどちらも中途半端になり危険です。二つの行動を同時にすることは「ムロならやらない」ですし、そもそも「ムロにもできない」のです。

また走行中、前方の状況は刻一刻と変化します。気持ちに余裕を持って、アクセルは前方の安全を確認できた場合のみ踏みましょう。安全確認をおろそかにしたまま「何か（渋滞・落物・故障車両など）あつてから止まる」という考え方は止まれません。マンガでも紹介したように、「何もないからアクセルが安全の基本になります。」



安全運転は常に「余裕」が欠かせない！

高柳 勝二 (たかやなぎ かつじ)

株式会社プロデキューブ代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社プロデキューブ設立。中小運送会社からの依頼が多い「提案型」研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい・眠くならない・わかりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度より国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。

「スピード」車間距離」を念頭にゆずる運転を
車間距離が長くなって割り込んでくる車に対しては、「ゆずる運転」で対応しよう。

「あまり運転」と思われなくても
「ゆずり合い運転」以上に「ゆずる運転」を

皆さんは運転中、ほかの車両に対して「いつもゆずっているから、今回は相手がゆずってくれるかもしれない」と考えていませんか？このような「かもしれない運転」は、交通事故の引き金になる恐れがあります。一方、こちらが「いつもゆずる」というシンプルな考え方であれば、運転中の迷いがなくなり交通事故に遭わない防衛運転につながるでしょう。「ゆずる運転」を実践する際に大切なのは、「いつもゆずる」先に止まる」という意思を、「早くわかりやすく発信」することです。例えば、方向指示器や運転室内からシユスターなどで示しましょう。

また前車との車間距離が長くなれば、ほかの車両が割り込もうとしてくると思います。「こでも対応を「ゆずる運転」と決めておけば、「入れてあげるか？どうするか？」と迷うことがなくなるでしょう。さらに前車との車間を詰めることがないので、「あまり運転をされている」という相手の勘違いを防ぐためにも有効です。「これくらいなら大丈夫だろう」とスピードを出して車間を詰める運転は、危険の始まりです。一方で、スピードを抑え車間距離が長くなれば、安全確保につながります。「スピード」は「車間距離」に比例し、そして「車間距離の長さ」は「無事故日数の長さ」に比例すると考えましょう。

1秒間の迷いが命取り！ だから「ゆずる運転」を！



運転者の
運転適性に
安全運転

ドライバーの感情は、車体の大きさに反映されて伝わります。例えば怒りの感情は車間距離を詰める運転となり、前車に大きな恐怖感を与えます。逆に「ゆずる運転」をすれば、「トラックが止まってくれた」として、大きな優しさを感じてもらえるでしょう。安全とは「いら立ち」をなだめ、「手順の省略」を律し、「体調を把握」して休息タイミングを早めるなど、まずは「自分を知ること」から始まります。

国土交通省「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針 -運転者の運転適性に応じた安全運転-」より